

コスプレで楽しく

金曜日、国会前の交差点。首相官邸前抗議行動に参加する人を誘導するスタッフの中に、首都圏反原発連合(反原連)の腕章をつけた通称・タッチーノさん(38) 東京都内在住・社員1の姿があります。

野菜デモ・
タッチーノさん



故の被害者。その立場から訴えたら」との、発想から始まりました。

「威圧的に感じるデモってどうなのか。もっと楽しくできないかという思いもあったんですよ」とタッチーノさん。「50人くらいくれば成功」と企画した昨年4月の渋谷でのデモは1500人が集まり話題になります。実は「デモが好きなメンバーは多くない」という「野菜デモ」。デモ以外でも交流を深めたいと、「オフ会」を開き、原

東京下町「行楽デモ」も

イラストに「おれの草、汚れてるぞー」と吹き出しのあるフラカードも。 放射能汚染や風評被害で人間に食べてもらえない野菜や魚も原発事



トマトの帽子やフラカードを身に付け、古い町並みを歩く「野菜デモ」の人たち 11月、東京都内(写真は「野菜デモ」提供)

「歩く」とすぐ暑くなっちゃうんです。だから薄着なんですけど、今度から上着を着てきますね。ユーモアを交え語ります。

かぶり物で扮装

「オルタナティブな(新しい)市民の自由学校」で知り合った人たちと、3・11後、一風変わったデモを始めました。「野菜にも一言いわせて! さよなら原発デモ」です。

トマトやモモなど野菜の「かぶり物」で扮装し、魚の模型や本物の野菜を掲げて「原発いらない」とアピールします。牛の



首相官邸前行動で案内に立つタッチーノさん 11月、国会正門前

発をなくすことについて話し合ってきました。

そのなかで今年6月には、「放射能に打ち勝つ身体づくりを」と免疫力を高める料理の講習会もしました。

声援に手ごたえ

野菜デモのメンバーが日ごろから気にかけているのは、「職場の同僚とか、普通の友だちとか、デモに来ないような人たち」に、いかに脱原発のメッセージを伝えていく

か」です。

10月のある日、新しい試みをしました。お寺や古い町並みが残る人気の東京都台東・文京区の谷中、根津、千駄木を歩きました。トマトの扮装の帽子をかぶり、「NO NUKES」「NO放射能」のフラカードを手にしているものの、シユプレヒコールはなし。さながら「行楽デモ」です。

「最近どうよ? とか原発とは全然、関係ないことをだべりながら、だから歩くだけなんですよ」とタッチーノさん。それでも道行く何人かから「原発はいらないね」と声をかけられ、手ごた

えを感じました。

一緒に考えよう

日本共産党の提言する「即時原発ゼロ」には、本当に世論がついてくるのかと疑問もありました。しかし今夏の電力供給からみて原発再稼働は必要なかったことや世論の変化を受け、昨年6月の「5〜10年以内を目標に原発から撤退」という提言を「即時ゼロ」に発展させてきたことを知りました。

「説明を受けてよく分かりました。共産党さんには、これが正しいんだよ、って言うことじゃなく、国民と同じ目線でいっしょに考えていきましようよ、という姿勢でいてほしい」とタッチーノさんは要望します。

(内藤真己子)